

図書館と県民のつどい埼玉 2010 記録

「大学図書館のお宝お見せします」 合同特別企画「私たちはあなたの一步を応援します！ ～ご存知ですか？お仕事支援～」

「図書館と県民のつどい埼玉 2010」が、平成 22 年 10 月 2 日(土)、さいたま市文化センターを会場として開催され、埼玉県大学・短期大学図書館協議会 (SALA) の事業として参加した。

今回は、SALA メンバー館の 8 機関による「お宝」の紹介のほか、公共図書館・埼玉県産業労働部との合同特別企画によるビジネス支援をテーマとした特別企画を行い、展示会は終日盛況であった。

各大学の展示内容は、次のとおりである。

(跡見学園女子大学)

本学図書館は、新座図書館と茗荷谷図書館の 2 館体制である。茗荷谷図書館には、さまざまな古い資料がありそのひとつに SP レコードのコレクションがある。いまやあまりお目にかからなくなったふるいメディアであるが、それなりの魅力がある。今回の展示



は「音声メディアの変遷」と題して、SPレコードをはじめ、所蔵する音声記録を紹介した。来場された方はみな興味深げにごらんいただいた。

(国立女性教育会館)

国立女性教育会館は、女性アーカイブセンター所蔵「奥むめおコレクション」から、消費者運動に関係する映像資料等を展示した。奥むめお(1895～1997)は、戦前・戦中・戦後を通して暮らしに根づいた女性運動を展開し、日本の消費者団体の草分けである主婦連合会初代会長としても有名である。全国規模の女性団体が共同開催した「物



価値上反対婦人大会」(昭和36年)の映像には、主婦会館(四ツ谷)での大会後、かっぱう着姿で主婦連合会初のデモ行進をする女性たちの様子が当時の世相とともに記録されている。加えて、観覧者は関連する写真やビラ、新聞など資料を手にすることができ、あらゆる世代に消費者運動の歴史を知らせる興味深い展示である。

(淑徳大学)

「拓本の世界一石に刻された中国歴史資料」と題して、春秋時代から唐時代までの1500年に亘る時代の変遷による書体の変化をたどれるような作品展示を行なった。2004年に西安で発見され、日本でも話題になった「井真成」の墓誌や書聖「王羲之」の作品も展示し、県民の方に美しい書体をお楽しみいただいた。



(城西大学)

本学は「漢方医学古書と道具」を展示した。これらの資料は本学薬学部において現代の医療、薬学、栄養学を学習する上で日本古来の漢方や医学書を学ぶ重要性和、建学の精神である「学問による人間形成」に結びつく学士力・人間力の涵養に資することを目的として蒐集しているものである。



【主な展示品】

- ・「解体新書序図」(安永3年刊行)
- ・「傷寒論辨正」(寛政2年刊行複製)
- ・「貝原養生訓」(天保5年刊行)
- ・薬匙、薬籠、薬缶(鎌倉時代、江戸時代)

古書や実際に使われていた薬匙、薬籠などをご覧いただき、一般の方と交流ができたことは大変有意義な機会であった。

(女子栄養大学)

展示テーマを「育てる、作る、食べる—農園体験から—」と題し、創立者香川綾が食や健康に関わる人材育成に欠かせないものとして作った『農園』が、現在も“農園体験”という授業科目によって、その精神を引き継いでいることを、農園作業・農園の今昔写真や植物関係、食育関係資料の展示により伝えた。主な展示資料は「野菜を育てて学ぶ食育実践BOOK」、「いのちを育てるところを育てる」などで、その他に農園の草花4種類(さつまいも、にんじん、にら、そば)の名前あてクイズを実施。ヒントは展示資料にあり全問正解者に小さな草花のプーケを提供した。

(聖学院大学)

「ライブラリアンは電子出版の夢を見るか?」と題した展示を行った。本の歴史を形態的に辿ることを目指し、メソポタミア文明の粘土板(複製)から、パピルス、写本、活版印刷、絵巻、折本、和本、洋本、電子書籍用端末(Kindle、iPadなど)を展示。美装本や仕掛け絵本、マイクロブック(豆本)



といった変わり本も並んだ。また「聖学院芸術情報発信システムSERVE」(機関リポジトリ)や、そのシステムを通じて社会に還元される大学の研究成果についても紹介した。

(文教大学)

テーマを「フランス近代国民教育制度の成立と発展」として、フランス革命期の教育改革の様子を伝える小冊子やポスターを展示(抜粋)した。(1)「王国の諸中等学校における公教育に関する法律」[1791年](教会勢力を排し国が教育を行うという「教育の世俗化」を示す)、(2)「コレージュ(中等学校)教員の給与に関する国民公会の政令」[1793年2月14日](教員の給与を革命以後は一定の基準で共和国が受持つことを示す)、(3)「パリ市芸術リセ設立のための四分の一株券」[1792年8月12日](パリ市に芸術リセを設立する資金を集めるために発行された株券)

(立正大学)

立正大学図書館は、昨年に続き田中啓爾文庫の中から、主に江戸期に出版された江戸切絵図や和装本、明治初期に出版されたちりめん本などを展示した。展示においては、来場者がより深く理解しやすいよう工夫したので、関心が良かったようだ。

例えば、ちりめん本は、直接触る機会を設けたり、道中すご雙ろく六図は、肉眼では見え難い精巧な部分を虫眼鏡を使って観察して頂いた。

主な出展品目：

- 「長崎和蘭陀屋舗圖」
- 「新版東街道五十三次行列雙六」
- 「参宮上宮道中一覽雙六」
- 「ペルリ提督日本遠征記」
- 「豆洲下田港之圖」
- 「江戸より長崎まで道中圖」